

重要取組シート

堺区役所

取組項目		1 堺区の実情を踏まえた防災力の強化
現状・課題		堺区は、単身高齢者や外国人居住者が市内で最も多いこと、昼間人口が夜間人口に比べて多いこと、区内に滞在する観光客への対応が必要であることなど災害発生時における区特有の課題がある。これらの課題解決のため、3 か年で重点的に取り組む3つの方針を決定し、令和4年度は以下の取組を実施した。 ・将来の担い手育成 『子育てファミリーのための防災ブックー堺区版ー』の発行、小学校や総合防災センターでの防災出前授業など、若年層を対象とした啓発・育成事業を実施。 ・地域防災力の強化 若年層への防災士資格取得費用補助制度の運用や堺区防災サポーターを対象とした各種防災研修の実施など、地域防災活動への参画を促進。 ・誰一人取り残さない防災体制の構築 インバウンド向け『防災お役立ちカード』の発行や防災訓練での『無事です札』の活用など、外国人や単身高齢者、帰宅困難者などへの対応を強化。
取組の内容		今年度は、3つの方針のもと、以下の取組を新たに実施する。 ・将来の担い手育成 堺保健センターで4カ月健診時に配布している『子育て防災ブック』の効果をさらに高めるため、動画による啓発を実施する。また、小学生が防災に関心・興味を持つきっかけとなるよう、夏休み自由研究講座を開催する。 ・地域防災力の強化 親子やグループで防災について考え、備える機会を増やせるよう、チーム参加型の防災アトラクションや親子防災キャンプを実施する。また、男女共同参画視点を取り入れた改訂版の「避難所運営マニュアル」に基づく研修、訓練を実施する。 ・誰一人取り残さない防災体制の構築 発災時に来訪者等を避難誘導し、小学生などの区民が日常的に防災を意識できるよう、各種防災対策サインを整備する。また、在堺外国人と災害多発国日本に関する情報を共有するため、多文化共生防災セミナーを開催する。
スケジュール	前期 (～7月)	☐ 防災士資格の取得促進(4月～) ☐ 小中学生・子育て世代への防災啓発(4月～) ☐ 安否確認を含めた防災訓練メニューの提案(4月～) ☐ 自主防災組織への活動支援、地区防災計画の作成支援(4月～) ☐ 外国人向けの防災情報発信(4月～) ☐ 区災害対応マニュアルの改定、区職員向け訓練・研修実施(5月)
	中期 (～11月)	☐ 防災アトラクション「ザ・リモート」の実施(8月) ☐ 夏休み防災自由研究講座(気象)の実施(8月) ☐ 子育て世代向け動画の作成(9月) ☐ 親子防災キャンプの実施(11月)
	後期 (～3月)	☐ 堺区防災サイン(標高・避難方向表示、路面避難誘導)の整備(12月) ☐ 男女共同参画視点の避難所運営訓練の実施(1月) ☐ 多文化共生防災セミナーの開催(2月)
	次年度以降	☐ 既存の取組についてブラッシュアップし充実、新規取組の検討・実施

進捗の状況	前期 (～7月)	☐ 防災士資格の取得促進(4月～) ☐ 小中学生・子育て世代への防災啓発(4月～) ☐ 安否確認を含めた防災訓練メニューの提案(4月～) ☐ 自主防災組織への活動支援、地区防災計画の作成支援(4月～) ☐ 外国人向けの防災情報発信(4月～) ☐ 区災害対応マニュアルの改定(4月～)、区職員向け訓練・研修実施(6月)		
	中期 (～11月)	☐ 夏休み防災自由研究講座(気象)の実施(7月) ☐ 防災アトラクション「ザ・リモート」の実施(8月) ☐ 子育て世代向け動画の作成(9月) ☐ 親子防災キャンプの実施(11月)		
	後期 (～3月)	☐ 堺区防災サイン(標高・避難方向表示、路面避難誘導)の整備(2月) ☐ 男女共同参画視点の避難所運営訓練の実施(2月) ☐ 多文化共生防災セミナーの開催(2月)		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5- (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上		
	寄与する KPI	—		目標値(2025年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号		
	寄与する KPI	—		目標値(2023年度) —